社会的インパクト評価に関する調査研究 海外調査(英国)実施状況について

2016年2月1日 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

| 団体名 | 分類 | 団体概要 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主な調査項目 |
|------------------------------|----------------|---|--|
| | | | |
| Cabinet Office | インパクト評価推進主体(官) | ・イギリス内閣府 | ・英国における社会的投資市場形成の推進背景について ・社気的投資市場形成における政府の役割について ・休眠預金の活用に関する実際と評価 |
| | | | ・Social Value Act 立法の背景・ねらい ・Social Value の測定手法 ・社会的インパクト投資の拡大や社会的インパクト評価普及の推進力として、休眠預金が果たした役割 |
| Big Society Capital | インパクト評価推進主体(民) | ・2012年 休眠預金を原資に設立 ・社会的金融中間支援団体(Social Investment Financial Intermidiaires;SIFIsへの投融資、投資対効果の計測を実施 ・分野ごとの指標を示したOutcome Matrixを開発 | ・中間支援・仲介組織におけるImpact performanceの 把握方法 ・中間支援・仲介組織からの評価結果の活用方法 ・Outcome Matrix普及の上での課題 ・社会的インパクト投資の拡大や社会的インパクト評 価普及の推進力として、休眠預金が果たした役割 |
| New Philanthropy Capital | インパクト評価推進主体(民) | ・2002年 設立 ・チャリティセクターの調査研究を中心とするシンクタンク ・NPC やボランタリー団体協議会(NCVO)など 8つの組織で構成される団体「INSPIRING IMPACT」の事務局も務める。内閣府もInspiring Impact の取組を支援 | ・評価ツールが有効に機能するために必要なサポート・ガイドラインに規定すべき内容 ・評価手法や指標を共通化・標準化すべき分野・規模により必要な評価のレベル・評価コストの最適な負担方法・英国において、資金提供者が評価を求めるようになった経緯・背景 |
| INVESTING FOR GOOD | インパクト評価推進主体(民) | ・2004年 設立 ・インパクト投資を推進する中間支援組織 ・「The Good Analyst」というインパクトレポート のためのガイドラインを作成 | ・Good Analystをベースとしたガイドラインの特徴・投資のタイプ(出資、融資)より必要な評価のレベル・チャリティや社会的企業の規模により必要な評価のレベル・投資決定にあたって、どの程度Social Purpose Organizationに与えたインパクトを重視しているのか |
| Business in the Community | インパクト評価推進主体(民) | ・1982年 設立 ・チャールズ皇太子が総裁 ・イギリスの上場企業の8割が加盟 ・持続可能な地域社会の形成を目的に、企業と 地域・政府をを繋ぐ中間支援組織 | ・参加企業が活動の成果を計測しレポートすることを 支援する「ベンチマーキング・ツール」の概要、大企業 向けと中小企業向けに分けた理由、評価の実施体制 ・評価の実施体制 ・評価結果のフィードバック方法 ・評価を支援する団体を国が育成する場合、国に求め られる役割 |
| North London Cares | インパクト評価実施主体 | ・2011年 設立 ・地域高齢者の見守り・支え合いを目的とした組 織 | ・日常的な内部向けの評価とフィードバックの方法・インパクト評価の実施体制・レポートの執筆体制・評価結果の活用方法 |
| HCT GROUP | インパクト評価実施主体 | ・1982年 設立 ・コミュニティ・トランスポートサービスを提供する 社会的企業 | ・Outcome Matrixを活用した評価の概要、Outcome Matrixを活用した経緯 ・インパクト評価の実施体制・レポートの執筆体制 ・インパクトレポート公表後の反応 ・評価結果の活用方法 |
| Pathway | インパクト評価実施主体 | ・2010年 設立 ・ホームレスのヘルスケアを目的とした組織 | ・logic modelを用いたインパクト評価の実施体制・レポートの執筆体制 ・RCTの実施目的、実施体制 ・インパクトレポート公表後の反応 ・評価結果の活用方法 |
| IntoUniversity | インパクト評価実施主体 | ・2007年 設立・貧困世帯の子供を中心とした学習支援・イギリス内に21のラーニングセンターを開設 | ・インパクト評価の実施体制・レポートの執筆体制・インパクトレポートの読み手・インパクトレポート公表後の反応・評価結果の活用方法 |